

授業科目名	ゲストサービス I						
学科・コース	国際コミュニケーション科／コンシェルジュコース						
担当教員	大石 麻美						
授業形態（主）	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実習	・講義	1	通年	必修	30	1	
授業目的 到達目標	人を感動させるモチベーションはどこから来るのか動機付けや背景を事実をもとに探り、より深い理解に繋げていきます。ケーススタディを軸にし、総合的なテーマパークの理解を目指します。型に捉われない豊かな発想力を育むことを目的とし、ロールプレイングも行います						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業 <input type="radio"/>	フィールドワーク	<input type="radio"/>
	双方向アンケート		ペアワーク	<input type="radio"/>	グループワーク	<input type="radio"/>	ロールプレイ <input type="radio"/>
	プレゼンテーション <input type="radio"/>		PBL	<input type="radio"/>	模擬授業		その他 <input type="checkbox"/>
授業 内容・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	授業説明・自己紹介・ゲストサービスとは					
	3～6	テーマパークの歴史			① テーマパークの歴史を系統立てて理解できる		
	7～10	キャストのおもてなしの要素とは			② ゲストサービスの構成要素と優先順位を理解できる		
	11～14	遊園地とテーマパークの違い			③ 幅広い年齢のゲストへの基本的な対応ができる		
	15～18	ユニバーサルサービス実習			④ ゲストのご要望を察し行動できる		
	19～22	ゲストとキャスト			⑤ 特別な一日の演出に対する発想ができる		
	23～26	マジカルモーメントとは			⑥ サービスリカバリーを理解し行動できる		
	27～28	サービスリカバリーとは・まとめ			⑦ 幅広い語彙力・表現力を習得できる		
	29～30	後期試験					
成績評価方法	出欠席（30％）、授業態度（20％）、提出課題（30％）、定期試験結果（20％）						
使用テキスト ／教材	・オリジナルテキスト ・「あなたに幸せの魔法をかけるディズニーランドの言葉」						
関連科目	ゲストサービス II						
その他	・各自毎時間PCを持参する事。※実務経験のある教員が担当する科目である。						

## シラバス（授業概要）

2024 年度

授業科目名	表現技法基礎						
学科・コース	国際コミュニケーション科／コンシェルジュコース						
担当教員	太田玲子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実技	・講義	1	通年	必修	30	1	
授業目的 到達目標	TPOに応じた幅広い表現力の習得を目的とします。様々な台本やオリジナル原稿を使用し、発声の基本から正確に伝わる表情のある心地よい声、話し方、伝え方に磨きをかけていきます。フリーアナウンサーレベルを目標としホスピタリティに伴った接客マナーを音声表現技術向上でバックアップしていきます。						
授業手法	・対面	・遠隔	・対面/遠隔	・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	○	グループワーク	○	ロールプレイ
	プレゼンテーション	○	PBL		模擬授業		その他
授業 内容・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	オリエンテーション 表現するとは 音声表現入門			① 自分の声を客観的に分析できる。 ② 正しいプロの発声法が身につく ③ 言葉に感情を乗せて表現する事ができる ④ アナウンステクニックが身につく ⑤ 人前で話す事がこわくなくなる ⑥ 文章を瞬時にわかりやすく伝える事ができる ⑦ TPOに応じた伝え方、話し方ができる ⑧ 幅広い表現力を身につける事ができる		
	3～6	基本発声練習・短文					
	7～10	基本発声練習・商品PR1					
	11～14	基本発声練習 ナレーション初級					
	15～16	前期試験					
	17～18	課題見つけ 基本発声練習 館内アナウンス初級					
	19～22	基本発声練習・館内アナウンス応用					
	23～26	基本発声練習・イベント入門					
	27～28	基本発声練習 試験準備					
	29～30	後期試験					
成績評価方法	本試験(50%)、出席(20%)、日頃の取り組み(30%)						
使用テキスト ／教材	配布プリント						
関連科目	表現技法応用						
その他	※実務経験のある教員が担当する科目である						

## シラバス（授業概要）

2024 年度

授業科目名	コンシェルジュⅠ						
学科・コース	国際コミュニケーション科／コンシェルジュコース						
担当教員	諏訪 好枝						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実習	・講義	1	通年	必修	60	2	
授業目的 到達目標	接客・接遇を基本にあらゆる分野においても役に立ち通用する社会人として身に付けておきたいスキルを学び、マニュアルにとらわれず自分自身で考える判断を決定する思考と行動力を目指します。						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業 <input type="radio"/>	フィールドワーク <input type="radio"/>	
	双方向アンケート		ペアワーク	<input type="radio"/>	グループワーク <input type="radio"/>	ロールプレイ <input type="radio"/>	
	プレゼンテーション <input type="radio"/>		PBL	<input type="radio"/>	模擬授業 <input type="checkbox"/>	その他 <input type="checkbox"/>	
授業 内容・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	授業説明・自己紹介・コンシェルジュとは			①マナーの必要性、意味を理解し、 日常生活に活かしていく		
	3～6	基本マナー・言葉遣い・社会的常識とその意味合い					
	7～12	話し方・聴き方・会話のスキル・語彙について			②業種、分野に限定されない社会人と して必要な基本を会得する		
	13～20	言葉遣い・好ましい言い方・表現の言い換え					
	21～28	ビジネスマナー・ビジネスメール・報告書作成			③ コミュニケーションスキルを養う		
	29～30	前期試験					
	31～38	スピーチ・発表・発言・提案のスキルとは			④自身で考える思考力と発想を伸ばす ⑤定型文に頼らない文章スキルを磨く		
	39～46	電話対応について					
	47～52	プラスワントーク・臨機応変の対応力			⑥語彙を増やす感性を磨く		
	53～58	まとめ・復習					
	59～60	後期試験（発表会）					
成績評価方法	出欠席（30%）、事業態度・発言（50%）、提出課題（5%）、定期試験結果（15%）						
使用テキスト ／教材	・オリジナルテキスト ・「本物の接客」 ・講師作成レジュメ						
関連科目	コンシェルジュⅡ						
その他	※実務経験のある教員が担当する科目である						

## シラバス（授業概要）

2024 年度

授業科目名	ホスピタリティマインド概論						
学科・コース	国際コミュニケーション科／コンシェルジュコース						
担当教員	千葉 麻里						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義		1	通年	必修	30	2	
授業目的 到達目標	ホスピタリティマインド概論の基本的な知識と判断力を検定試験を通じ習得することを目標としています。毎授業小テストを実施し、理解を深め、ホスピタリティマインドの定着を図ります。						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	<input type="radio"/>	グループワーク	<input type="radio"/>	ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL	<input type="radio"/>	模擬授業		その他
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	授業説明・ホスピタリティの基本			10項目程度		
	3～6	これからの社会とホスピタリティ			① ホスピタリティとサービスの違いを理解することができる		
	7～10	ホスピタリティ・マインドの育て方			② 相手に寄り添った行動ができる		
	11～14	ホスピタリティ・マナー			③ 幅広い年齢に合った語彙・表現力を習得することができる		
	15～16	ホスピタリティ・コミュニケーション			④ 顧客ニーズに対応する柔軟な提案力を高めることができる		
	17～18	前期試験			⑤ 観察力を活かし要望を察し行動することができる		
	19～20	前期復習 ホスピタリティ・コミュニケーション					
	21～24	ビジネスにおけるホスピタリティ					
	25～28	検定対策（模擬試験）					
	29～30	グループワーク これからの社会を考える					
成績評価方法	【前期】前期試験（50%） 小テスト（30%） 授業態度・出席率（各10%） 【後期】検定試験結果（50%） 模擬・小テスト（40%） 授業態度・出席率（各5%）						
使用テキスト ／教材	・「社会人ホスピタリティ 要点チェック&確認問題」 ・オリジナルテキスト						
関連科目	ホスピタリティマインド演習						
その他	・各自毎時間PCを持参すること。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。						

授業科目名	茶道・着付け						
学科・コース	国際コミュニケーション科／コンシェルジュコース						
担当教員	見原 文子・中村 由美						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実技		1	通年	必修	30	1	
授業目的 到達目標	日本の民族衣装である着物と茶道の知識を通じ、日本の伝統的な立ち居振る舞いを身に着けることを目標とします。ビジネスシーンにも生かすことが出来るよう反復練習を行います。						
授業手法	・対面 ○	・遠隔	・対面/遠隔	・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業 ○	反転授業		調査授業	フィールドワーク		
	双方向アンケート	Pワーク		グループワーク	ロールプレイ		
	プレゼンテーション	PBL		模擬授業	その他		
授業 内容・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	茶の湯の歴史 お点前の拝見			① 亭主はお客様に気持ちの良い時間を提供できる ② 亭主がお点前をしやすい気配りが出できる ③ 菓子や道具から季節を味わうことができる ④ お抹茶を点てることができる ⑤ 着物の種類を見分けることができる ⑥ 着物が自分で着れるようになる ⑦ 着物や帯が畳めるようになる ⑧ その場に合った着物を選べるようになる ⑨ 美しい所作を身に付けることが出来る ⑩ 紐や帯の結び方を習得出来る		
	3～4	茶道具説明 菓子の取り方					
	5～6	畳の上での歩き方 お辞儀の仕方 準備と片付け					
	7～8	割り稽古（袱紗の扱い 茶筌通し）					
	9～10	お点前（客の作法、千家十職について）					
	11～12	お点前総演習					
	13～14	茶会					
	15～16	着物の基礎知識 歴史と種類、名称と畳み方					
	17～18	浴衣の着付けと半幅帯の文庫結び					
	19～20	浴衣の着付けと半幅帯の文庫結び・帯のアレンジ					
	21～22	着物の着付け 長襦袢と着物の着方					
	23～24	着物の着付けと袋帯の結び方①					
	25～26	着物の着付けと袋帯の結び方②					
27～28	立ち居振る舞い 歩き方と座り方 和室のマナー						
29～30	着物の選び方 買い方とお手入れの仕方						
成績評価方法	出欠席（25%）、授業態度（25%）、実技の習熟度（50%）を踏まえ評価いたします。						
使用テキスト ／教材							
関連科目	華道						
その他	世界に誇る日本の伝統文化を通じて、考え方や振る舞いを学んでください。						

## シラバス（授業概要）

2024 年度

授業科目名	異文化理解						
学科・コース	国際コミュニケーション科／コンシェルジュコース						
担当教員	山梨 千恵子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	1	通年	必修	30	1	
授業目的 到達目標	異文化理解力の習得を目標とし、世界の文化を歴史・宗教・政治経済などから広く学び、自国のものと比較しながら理解を深め、異文化間のコミュニケーションに役立つ知識や視点を身に付ける。						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業	<input type="radio"/>	フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク	<input type="radio"/>	ロールプレイ
	プレゼンテーション	<input type="radio"/>	PBL	<input type="radio"/>	模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	グローバル社会の基礎知識、「異文化理解力」とは			10項目程度		
	3～4	ハイコンテクスト文化・ローコンテクスト文化			① 異文化理解の知識		
	5～6	文化の影響と社会制度・移民問題と多文化主義			② ローコンテクスト文化、 ハイコンテクスト文化の知識		
	7～10	世界の宗教・多文化共生社会			③ 移民についてのトピックの理解		
	11～14	食文化・食習慣・風土・歴史			④ 世界三大宗教・世界の宗教について の基礎知識		
	15～16	プレゼンテーション①			⑤ 世界の食文化の基礎知識		
	17～18	言語と文化・多種多様な非言語コミュニケーション			⑥ 世界遺産・文化財についての基礎知識		
	19～20	世界遺産・日本の文化遺産/文化財			⑦ 世界の美術・芸術についての基礎知識		
	21～22	美術と芸術・マスメディアとエンターテインメント			⑧ メディアとエンターテインメントの グローバル化についての理解		
	23～26	世界の経済と情報社会・デジタル化で変革する社会			⑨ 世界経済の基礎知識		
	27～30	プレゼンテーション②			⑩ 比較文化研究のプレゼンテーションが できる		
成績評価方法	出席率(50%)、授業レポート(30%)、プレゼンテーション(20%)						
使用テキスト ／教材	なるほど知図帳世界2024、授業内で配布する資料						
関連科目	異文化接遇、観光接遇地理						
その他							

## シラバス（授業概要）

2024 年度

授業科目名	プレゼンテーション						
学科・コース	国際コミュニケーション科／コンシェルジュコース						
担当教員	千葉 麻里						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	1	後期	必修	30	1	
授業目的 到達目標	ご案内スキルを向上させるために、人前で話すこと、情報をまとめることの方法を学び、実践できる基礎の習得を目標とします。課題と手法を示し、原稿作成・発表を基本とします。						
授業手法	・対面 <input type="checkbox"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業 <input type="checkbox"/>	フィールドワーク	
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク <input type="checkbox"/>	ロールプレイ	
	プレゼンテーション <input type="checkbox"/>		PBL <input type="checkbox"/>		模擬授業	その他	
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	授業説明・プレゼンテーションの基本知識			10項目程度		
	3～4	自己紹介のプレゼンテーション			① 文章構成の基本を理解できる		
	5～6	S-AIRの体験入学時の学校紹介			② 理論的に簡潔に伝えることができる		
	7～8	ポスターワーク			③ 相手に伝わる表現力を習得できる		
	9～10	グループディスカッション ①学校の魅力について			④ 相手に理解してもらえる語彙力を		
	11～12	グループディスカッション ②学校のPR方法を考える			習得できる		
	13～14	グループディスカッション ②学校内でできるSDGs			⑤ 他者の発表から、自分自身を客観的に		
	15～18	グループワーク ①社会人として求められるスキルとは			評価することができる		
	19～22	グループワーク ②日本が海外に誇れる強みとは			⑥ 傾聴力を養うことができる		
	23～24	良いサービス・悪いサービスとあなたが目指すおもてなし			⑦ 自信をもって人前に立ち発言する		
	25～30	ミニセミナー開催			ことができる		
	成績評価方法	発表〔文章構成・表現力〕（50%） 課題提出（10%） 授業態度（25%） 出席率（15%）					
使用テキスト ／教材	オリジナルテキスト						
関連科目	インフォメーションコーディネート						
その他	・各自毎時間PC持参すること。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。						

## シラバス（授業概要）

2024 年度

授業科目名	EQ開発						
学科・コース	国際コミュニケーション科／コンシェルジュコース						
担当教員	松永 祐子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	1	前期	必修	30	1	
授業目的 到達目標	社会人として必要となる自己調整力をさまざまな角度から学んでいきます。心理学を理解するだけでなく、日常で実践することにより、自分らしい困難への対処法を見つけていくことを目指します。自己診断ツールを活用した授業も行っていきます。講義・演習形式						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	<input type="radio"/>	グループワーク	<input type="radio"/>	ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	授業説明と自己紹介			①他者との関係づくりのコツが分かる ②自分の強みの理解と活用法が分かる ③自分の感情を自分で調整できる ④出来事への正しい認知と正しい行動が選べる ⑤ストレスの概念が理解できる ⑥ストレスからの回復力を養うことができる ⑦行動のメカニズムが理解できる ⑧自他への思いやりの効果について理解できる		
	3～6	ウェルビーイング					
	7～10	自分の強みを知り活かす方法を学ぶ（VIA-IS診断）					
	11～18	選択理論心理学					
	19～24	アンガーマネジメント（怒り感情の取り扱い）					
	25～26	ストレスマネジメント					
	27～28	レジリエンス					
	29～30	セルフ・コンパッション（思いやり・慈悲を学ぶ）					
成績評価方法	出席率（30%）授業態度（20%）提出課題（50%）						
使用テキスト ／教材	幸せの達人（ユーキャン自由国民社）・講師オリジナルワークブック						
関連科目							
その他							



授業科目名	ゲストサービスⅡ							
学科・コース	国際コミュニケーション科／コンシェルジュコース							
担当教員	大石 麻美							
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位		
実習	・講義	2	通年	必修	60	2		
授業目的 到達目標	人を感動させるモチベーションはどこから来るのか動機付けや背景を事実をもとに探り、より深い理解に繋がっていきます。ケーススタディを軸にし、総合的なテーマパークの理解を目指します。型に捉われない豊かな発想力を育むことを目的とし、ロールプレイングも行います							
授業手法	・対面	○	・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド	
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業	○	フィールドワーク	○
	双方向アンケート		ペアワーク	○	グループワーク	○	ロールプレイ	○
	プレゼンテーション	○	PBL	○	模擬授業		その他	
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標			
	1～4	授業説明・一年次の復習						
	5～8	キャラクターの役割とは			① キャラクターの意味・効果を理解し考案できる			
	9～12	オリジナルキャラクターを考える・プレゼンテーション発表			② 季節イベントの意味・効果を理解し考案できる			
	13～16	季節イベントの役割とは			③ アトラクションの持つ役割・ストーリーを理解し考案できる			
	17～24	オリジナルイベントを考える・プレゼンテーション発表			④ ゲストの一日に起こるイベントを理解し提案できる			
	25～28	アトラクションの役割とは			⑤ ゲストに合わせた一日をプランニングできる			
	29～30	前期試験			⑥ 幅広い語彙力・表現力を提案に反映できる			
	31～34	オリジナルアトラクションを考える・プレゼンテーション発表			⑦ 自分だけのおもてなしを理解し、体现できる			
	35～38	秋期研修準備						
	39～42	秋期研修						
	43～46	食育とは何か						
	47～50	テーマパークにおける食育						
51～58	テーマパークの一日をプランニング							
59～60	後期試験							
成績評価方法	出欠席（30％）、授業態度（20％）、提出課題（30％）、定期試験結果（20％）							
使用テキスト ／教材	・オリジナルテキスト ・「あなたに幸せの魔法をかけるディズニーランドの言葉」							
関連科目	ゲストサービスⅠ							
その他	・各自毎時間PCを持参する事。※実務経験のある教員が担当する科目である。							

## シラバス（授業概要）

2024 年度

授業科目名	表現技法応用						
学科・コース	国際コミュニケーション科／コンシェルジュコース						
担当教員	太田 玲子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	2	前期	必修	30	1	
授業目的 到達目標	昨年の学びを強化させると共にホスピタリティーに伴った伝わる声と話し方を徹底的に磨きます。 プロの現場を想定した実習を行い音声表現技術向上を目指します。						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	<input type="radio"/>	グループワーク	<input type="radio"/>	ロールプレイ
	プレゼンテーション	<input type="radio"/>	PBL		模擬授業		その他
授業内容・授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	発声練習上級編 オリエンテーション 課題探し			① 自分の声を生かした伝え方ができる		
	3～8	基本発声練習 原稿読み1 中文			② 正しいプロの発声法が身につく		
	9～14	基本発声練習 原稿読み2 中文			③ 言葉に感情を乗せて表現する事ができる		
	15～20	基本発声練習 原稿読み3 長文			④ アナウンステクニックが身につく		
	21～26	基本発声練習 原稿読み3 長文			⑤ 人前で話す事がこわくなくなる		
	27～30	本試験（自作スピーチ） 短文 総まとめ			⑥ 文章を瞬時にわかりやすく伝える事ができる		
					⑦ TPOに応じた伝え方、話し方ができる		
					⑧スピーチ、プレゼンスキルが上がる		
					⑨オンラインでの伝え方が上達する		
		※原稿読み			⑩幅広い表現力を磨く事ができる		
		アトラクション1, 2, 3					
	ニュース						
	映像ナレーションなど						
成績評価方法	本試験（50％）、出席（20％）、日頃の取り組み（30％）						
使用テキスト／教材	配布プリント						
関連科目	表現技法基礎						
その他	※実務経験のある教員が担当する科目である						

授業科目名	コンシェルジュⅡ							
学科・コース	国際コミュニケーション科／コンシェルジュコース							
担当教員	諏訪 好枝							
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位		
実習	・講義	2	通年	必修	60	2		
授業目的 到達目標	1年生で身に着けた基本を軸に、様々なケースについて各自の意見・考えをディスカッション形式で話し合い発表していく。限られた経験値を想像・想定し解決するスキルを育むことを目標とする。							
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>				
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業	<input type="radio"/>	フィールドワーク	<input type="radio"/>
	双方向アンケート		ペアワーク	<input type="radio"/>	グループワーク	<input type="radio"/>	ロールプレイ	<input type="radio"/>
	プレゼンテーション	<input type="radio"/>	PBL	<input type="radio"/>	模擬授業		その他	
授業 内容・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標			
	1～4	一年次の復習			①社会人としての電話対応を学ぶ			
	4～9	電話対応ロールプレイング			②経験していないこと、遭遇した場面において臨機応変な対応ができる 思考力、判断力、実行力を養う			
	10～11	ケーススタディとは						
	12～28	ケーススタディ						
	29～30	前期試験			③どの分野でも通用する社会人スキルを身に着ける			
	31～54	ケーススタディ						
	55～58	総まとめ						
	59～60	後期試験（発表会）						
成績評価方法	出欠席（30%）、事業態度・発言（50%）、提出課題（5%）、定期試験結果（15%）							
使用テキスト ／教材	・オリジナルテキスト ・「本物の接客」 ・講師作成レジュメ							
関連科目	コンシェルジュⅠ							
その他	※実務経験のある教員が担当する科目である							

授業科目名	ホスピタリティマインド演習						
学科・コース	国際コミュニケーション科／コンシェルジュコース						
担当教員	広瀬 通夫						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	2	通年	必修	30	1	
授業目的 到達目標	1年次の応用として、演習形式の講義を通じ接客業界の最前線で求められる、販売分野に特化したプロフェッショナルマインドの育成と実現を目標とします。演習・講義形式						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業 <input type="radio"/>	反転授業		調査授業	フィールドワーク		
	双方向アンケート	^アワーク		グループワーク	ロールプレイ		
	プレゼンテーション	PBL		模擬授業	その他		
授業 内容・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	小売業とは何か・小売業の種類と特徴			① お客様の立場に立った売場づくりが出来る		
	3～4	販売形態の種類と特徴・小売業の基本知識			② 職場での自分の役割が理解できる		
	5～6	商店街の現状と特徴・商品とは何か			③ お客様のニーズを的確につかめる		
	7～10	マーチャндаイジング・商品計画の基本			④ 接客に関する基礎知識が身につく		
	11～12	理解度チェック試験			⑤ 商品に関する専門知識が身につく		
	13～14	ストアオペレーション・ディスプレイの基本			⑥ 売場や店舗を管理する能力が身につく		
	15～18	マーケティング・顧客満足の基本			⑦ 経済の動きをしっかりと見ることが出来る		
	19～20	商圈の設定・売場起点の販売促進					
	21～22	顧客志向の売場づくり・接客マナー					
	23～26	販売員の法令知識・小売業の計数管理					
	27～28	店舗管理・衛生管理					
	29～30	理解度チェック試験					
成績評価方法	理解度チェックテスト（50％）・出席率（25％）・授業態度（25％）						
使用テキスト ／教材	3級対応販売士ハンドブック上巻・下巻						
関連科目	ホスピタリティマインド概論						
その他	※実務経験のある教員が担当する科目である。						

## シラバス（授業概要）

2024 年度

授業科目名	華道						
学科・コース	国際コミュニケーション科／コンシェルジュコース						
担当教員	鈴木 智美						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実技		2	通年	必修	30	1	
授業目的 到達目標	華道とフラワーアレンジメントの基礎を学び、コミュニケーションツールの一つとして、相手を大切に思う姿勢につながっていきます。様々な角度から新たな工夫を発見し、豊かな視点を持つことで、言葉に表せないメッセージや意図を読み取る力が生まれるよう目指しています。						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	<input type="radio"/>	グループワーク		ロールプレイ
	プレゼンテーション <input type="radio"/>		PBL	<input type="radio"/>	模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	・シラバスについて ・年中行事とお花の関係性			①	花、草木の知識が増える	
	3～4	・花の扱い方、一輪挿しに活ける			②	観察力が深まる	
	5～8	・花束からの流れ（活ける、リボン、ラッピング）			③	決断力(花を切ることから学ぶ)	
	9～10	・季節の生け花（水盤と剣山）			④	集中力(花を生けることで深まる)	
	11～12	・季節の生け花（水盤と剣山）			⑤	インスピレーションが湧く	
	13～14	・季節の生け花（水盤と剣山）			⑥	多様性と価値観の尊重	
	15～16	・フラワーアレンジメント基礎1（練習）			⑦	仕上がりをイメージした想像力	
	17～18	・フラワーアレンジメント基礎1（完成）			⑧	感性が豊かになる	
	19～20	・フラワーアレンジメント基礎2			⑨	花でもてなす心を学ぶ	
	21～24	・SDGsに繋げるための工夫			⑩	作品を通じて自分を見つめる	
	25～28	・間伐材を使ったクリスマスリース作り					
	29～30	・お正月のしめ縄飾り					
成績評価方法	・授業への出席率、作品の完成（70%） ・積極性、提出ファイル（30%） （ 取り組む姿勢、情熱、失敗を恐れないチャレンジ ）						
使用テキスト ／教材	配布資料						
関連科目	茶道・着付け						
その他	※実務経験のある教員が担当する科目である。						

授業科目名	異文化接遇						
学科・コース	国際コミュニケーション科／コンシェルジュコース						
担当教員	関根 由美子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	2	通年	必修	30	1	
授業目的 到達目標	異文化理解と異文化コミュニケーションの座学とグループワークや調査、プレゼン発表を通して、様々な人々と協調し、順応出来る力を身に付ける						
授業手法	・対面 <input type="checkbox"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業	<input type="checkbox"/>	フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク	<input type="checkbox"/>	ロールプレイ
	プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>	PBL		模擬授業		その他
授業 内容・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	授業説明・異文化理解への態度（ケーススタディ）			① 日本の常識にとられない素地を作る ② 世界の文化・習慣・マナーなどを知る ③ 誤解されやすい文化をロールプレイングを通して理解を深める ④ 国際交流科の学生から実体験を聞き海外との違いを知る ⑤ 世界の褒め方・叱り方・謝り方を知り、プレゼン発表出来る ⑥ 外国籍の方から直接その国の文化・風習などを聴講し、理解を深める ⑦ コンテキスト・異文化コミュニケーション・パラ言語を理解する ⑧ 世界の非言語コミュニケーションを知る ⑨ 世界の言語コミュニケーション・非言語コミュニケーションについてプレゼン発表が出来る		
	3～4	世界の文化・習慣・マナー・食文化のプレゼン					
	5～6	見える文化と見えない文化 （見えない文化ロープレ&疑似体験）					
	7～8	コンテキスト・パラ言語					
	9～10	異文化コミュニケーション・自己開示					
	11～12	言語コミュニケーション （世界のほめ方・プレゼン作成）					
	13～14	言語コミュニケーション （世界の叱り方・プレゼン作成）					
	15～16	言語コミュニケーション （世界の謝り方・プレゼン作成）					
	17～18	出前教室①					
	19～20	非言語コミュニケーション （アイコンタクト・プレゼン作成）					
	21～22	出前教室②					
	23～24	非言語コミュニケーション （ジェスチャー・プレゼン作成）					
	25～26	出前教室③					
27～28	非言語コミュニケーション （時間の感覚・プレゼン作成）						
29～30	世界の言語コミュニケーション・ 非言語コミュニケーションについてプレゼン発表						
成績評価方法	プレゼン発表（40％）・ロールプレイング発表（30％） 小テスト・提出物（20％）授業態度・出欠席（10％）						
使用テキスト ／教材	異文化コミュニケーション（三修社）・講師作成プリント						
関連科目	異文化理解						
その他	各自毎時間PCを持参する						

## シラバス（授業概要）

2024 年度

授業科目名	インフォメーションコーディネート						
学科・コース	国際コミュニケーション科／コンシェルジュコース						
担当教員	大石 麻美						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実技	・講義	2	通年	必修	30	1	
授業目的 到達目標	お客様からのお問い合わせやご要望の場に於いて、目の前のお客様に最も適した情報(インフォメーション)を素早く正確にお伝えするために、どのような準備(まとめ：デザイン)をすればよいかを考え、小売業を主とした独自のご提案スタイル確立が目標です。						
授業手法	・対面 <input type="checkbox"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク <input type="checkbox"/>
	双方向アンケート		ペアワーク	<input type="checkbox"/>	グループワーク	<input type="checkbox"/>	ロールプレイ
	プレゼンテーション <input type="checkbox"/>		PBL	<input type="checkbox"/>	模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	授業説明・情報収集～提案の重要性とは					
	3～6	情報の収集法と整理について			① 適切なツールを使って情報収集ができる		
	7～8	情報を活用したおもてなしとは			② 複数の情報を組み合わせ提案できる		
	9～10	AIの活用			③ お客様のニーズとウツを理解できる		
	11～12	フィールドワーク①			④ AIを活用することができる		
	13～14	ご提案のケーススタディ			⑤ 小売業における商品知識を習得できる		
	15～16	小売業における商品知識			⑥ 小売業での一般的な接客を理解できる		
	17～18	ご提案のケーススタディ			⑦ 小売業の現場におけるおもてなしを理解できる		
	19～20	フィールドワーク②					
	21～22	おもてなしのアフターフォロー					
	23～24	オリジナルリーフレットの作成					
	25～28	リーフレットを使用したご案内					
	29～30	まとめ					
成績評価方法	出欠席（25％）、授業態度（25％）、成果物（50％）						
使用テキスト ／教材	講師作成プリント						
関連科目	プレゼンテーション						
その他	※実務経験のある教員が担当する科目である。						

授業科目名	観光接遇地理						
学科・コース	国際コミュニケーション科／コンシェルジュコース						
担当教員	牧田 行雄・大石 麻美						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義		2	後期	必修	30	2	
授業目的 到達目標	・観光系の学習の一環として、日本における世界遺産についての基礎知識を学習し特徴を理解する。						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク <input type="radio"/>
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク	<input type="radio"/>	ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業 内容・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～4	世界遺産とは（基礎知識）			10項目程度		
	5～8	北海道、東北、関東北部の世界遺産			① 世界遺産の始まりが理解できる		
	9～12	中部地域の世界遺産			② 世界遺産の登録基準がわかる		
	13～16	奈良、京都の世界遺産			③ 日本の世界遺産登録の始まりがわかる		
	17～20	近畿、中国地方の世界遺産					
	21～24	九州、沖縄地方の世界遺産			④ 日本の世界遺産がどの県にあるかわかる		
	25～28	世界の主な世界遺産					
	29～30	まとめ			⑤ 日本の世界遺産の特徴がわかる		
					⑥ 世界の有名な世界遺産がわかる		
成績評価方法	学期末試験（60％）、小テスト（30％）、授業受講出席率（10％）						
使用テキスト ／教材	・世界遺産検定4級公式テキスト ・サブノート・配布プリント						
関連科目							
その他							